

イルカンパニーレ 男声合唱団 Il Campanile

第18回演奏会

6/30(日)

うさみとしかず
宇佐美平和

男声合唱団イル・カンパニーレ団長



してお届けします。その1曲目「丘の三角畑」は、「♪ 鋏打つ、鋏打つ、／近寄つて鋏打つ、／キラキラするのは 巡査のサアベル、／畑の上では 蒸気が旗振る。／光は薔薇いろ、湾内や真青。」 巡査はサーベルを腰に見廻りをしています。

Il Campanile(イル・カンパニーレ:通称イルカン)は、1984年に埼玉県川越市に産声を挙げました。

今年は40周年という節目の年になりました。私を含め創立当初からの団員も数名おり、40年の歳月を重ねています。今年30歳になる団員は15歳で入団したので人生の半分をイルカンで過ごしています。

そんなイルカンが激動のコロナ禍を乗り越え、なんとか途絶えていた演奏会を開催することとなりました。まだまだ後遺症で復帰できないでいる指揮者も団員もいる中ですが、精一杯、そして至高のハーモニーを目指し精進しています。今回は復帰が叶わない指揮者に代わり、団員の中から音楽教員で埼玉県合唱連盟理事の細田貴大くん、そして埼玉県合唱連盟理事長の小野瀬照夫先生、そして創立当初高校生だった(いまや立派なおじさん)である井口治くんに指揮をお願いして、ガレキの中からの一歩のつもりで歌います。

男声合唱団
IL CAMPANILE
イルカンパニーレ
第18回演奏会
6/30(日)
ウェスタ川越 大ホール
13:00 開場
13:30 開演
入場無料

第1ステージ 小野瀬照夫 指揮
三崎のうた 北原白秋 作詩 / 多田武彦 作曲

第2ステージ 井口治 指揮 野島万里子 ピアノ
北川昇 編曲 夢をあきらめないで より
三沢治美 編曲 SORA より

第3ステージ 賛助出演 ピアノ連弾 伊藤文子・林美土里
動物の謝肉祭 サン＝サーンス 作曲

第4ステージ 細田貴大 指揮 野島万里子 ピアノ
夢の手ざわり 森山恵 作詩 / 田中達也 作曲

お問い合わせ ilcam@info.nagasaki-net.com ホームページ <http://ilcam.net>
公演内容は予告なく変更になる場合があります

また第4ステージでは、詩人であり翻訳家でもある森山恵の《夢の手ざわり》をテキストにした田中達也作曲 <男声合唱とピアノのための組曲「夢の手ざわり」>を歌います。詩人の感性から見た《夢》の正体とは、が伝えられるか「ゴツゴツ…ってなんだ??」是非足をお運びください。

”Il Campanile”は、イタリア語で「鐘楼」の意味で、小江戸川越の名所「時の鐘」にちなんで、団名としました。

結成からずっと小高秀一先生(元埼玉県合唱連盟理

事長)にご指導いただいていたのですが、2014年から牧野美紀子先生をお迎えし、発声から宴会まで面倒をみてもらってます。新しいメンバーも増えて、新生イル・カンパニーレの活動がスタートしました。

牧野先生は、二期会会員、父は埼玉男声合唱の祖であり、小高先生の恩師でもある牧野統先生。ピアニスト野島万里子先生は、男声合唱プロジェクトYARO会ジョイントコンサートの演奏を聴かれた

作曲家多田武彦先生に、豊かな音楽性、高度なテクニックを持つピアニストであると称賛されました。

入場無料です。ぜひお越しください。

- ❖ 令和6年6月30日(日)
- ❖ 13:00開場、13:30開演
- ❖ ウェスタ川越 大ホール
- ❖ 入場無料

ホームページ: <https://ilcam.web.fc2.com/>

第1ステージは、自然派詩人北原白秋が生れ変わった地として知られる三浦半島三崎を題材にした詩を組曲と

